

共同研究開発事業報告書

1 事業名称

非浸潤性膀胱癌治療薬開発

2 実施期間

令和 3 年 7 月 30 日 から 令和 4 年 3 月 31 日

3 実施場所

吹田市山田丘 2 番 8 号テクノアライアンス C 棟

4 連携した大学、研究機関等の名称（産学連携の場合）又は団体の構成員の名称（企業間連携の場合）

大阪大学大学院薬学研究科 薬学部

5 事業の経過及び内容

特定の無機化合物を有効成分とする薬剤を用いた BCG に代わる新たな膀胱癌の治療薬開発に取り組んでいます。当該無機化合物ががん細胞と接するとラジカルが発生してがん細胞死を誘導します。特徴は膀胱上皮すべてに破壊的な作用を持つものではなく、癌細胞特異的に作用するため、BCG に比し副作用がなく、QOL も極めて優良であることが期待できることです。

現在、非臨床安全性試験を終了し、治験開始に向けての準備を進めています。治験に向けて、投与する薬剤の用量域を確定するための試験を実施しました。

6 事業の成果

本薬剤は、尿管を通じて膀胱上皮に発生した癌組織に対して直接投与します。本補助金により安全で有効性が担保できる投与用量域を動物モデルにより確定することができました。

7 今後の展望

投与用量域が確定したことにより、今後、治験プロトコルを定めて薬事当局（PMDA）相談を行って治験段階に移行する計画です。

8 今後、産学連携や企業間連携により事業を実施する事業者への助言等

吹田市地元企業共同研究開発事業による補助金の交付をうけて、製薬プロセスでも最も重要な治験に対して必須となる有用な実験を実施し、データ取得が行えた。それにより大阪大学医学系研究科 医学部・大阪大学大学院薬学研究科 薬学部また支援機関である未来医療センターと連携円滑化が図ることができた。

<御注意>

本報告書は、補助金交付後、吹田市のホームページ上で公開します。
広く市民の方が読まれることを想定し、できるだけ理解しやすい説明となるよう配慮して御記入ください。